

実験

remo マニュアル

* マニュアル *

帰宅時にテレビの電源がオンになり、帰宅時間がスプレッドシートに記録される。

基本的に使用時は家にだれもいないことが想定される。remoの設置想定が玄関なので、玄関付近を通らないのなら、家に人がいても問題ない。

帰宅時にテレビがついていなければつき、ついていればそのままになる。

帰宅時にテレビが付くときのチャンネルを、事前にLINEで設定することができる。

アプリと違ってテレビのオンオフを記録することができる。

・外出から帰宅時のテレビ起動の流れ

1. 外出時にLINEでトリガーを作動させる
2. 外出時にテレビがついていたか消えていたかの初期状態をLINEで入力
3. 帰宅するとremoのセンサーが感知
4. 1分毎に動いているトリガーにより、動作センサーが感知したことを受け取る
5. テレビの状態により動作(元がオフならオン, 元がオンならそのまま)
6. スプレッドシートに現在時刻とテレビの状態が記録される。
7. LINEにテレビの状態が送信される(「テレビがオンになりました チャンネル:1」や「テレビの電源は既にオンです」)
8. テレビがついて5秒後に設定されたチャンネルに変更される(テレビの起動時間を考慮し5秒後に変更)
9. トリガーが停止する

* LINE *

・1 (半角で):テレビがオンになった時, 1チャンネルに変更できるように設定。
(2,4,5,6,8,10 も同じ)

・オン :テレビの電源をオンにして, 設定されたチャンネルに変える。チャンネルが設定されていなければ強制的に1チャンネルになる。すでにオンならそのまま。

・オフ :テレビの電源をオフにする。すでにオフならそのまま。

・作動 :1分毎にremoのセンサが動作するトリガーを作成。このあとにテレビがオンかオフかを入力

- オンです :現在テレビがオンであると設定。
- オフです :現在テレビがオフであると設定。

・停止 :上記の作成されたトリガーを削除。